

6月24日（木）

夏越大祓（6月27日午後3時～）で使う茅の輪の材料である「茅」を刈り取ってきました。「茅」はチガヤと呼ばれるものとかススキなんかも「茅」の仲間、言い換えれば、そのような植物の総称が「茅」ということになります。植物には水分がいっぱい含まれているので、1日おいといて水分を無くします。すると太さは半分ぐらいにまでなります。初めて茅の輪を作ったとき、刈ってきた茅をすぐ束にしてくりましたが、次の日はカスカスになった茅の輪は無残にも「輪」になっていませんでした。

明日、茅の輪をつくり、出来上がり次第、境内に設置します。台風がややこしいときに接近するとかいう予報が出ています。誰や、雨をもたらす奴は！？